

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」忍ヶ丘駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令は順守しており、限られたスペースの中で運動も出来るように工夫している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守した配置である。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		トイレや教室内はバリアフリー化されている。	注意集中のために、情報量をシンプルにした配慮をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		感染予防ガイドラインに従い毎日清掃消毒を行い、設備の点検等、安全対策に取り組んでいる。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			事業所内で会議・面談を実施し、業務改善につなげている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者へのアンケートを実施し、業務改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しを行い、事業所に掲示し H P に公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は、利用者・社内の 2 者評価である	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月発達支援研究	コロナ禍で研修自体の実施が少ないですが、状況

					その他各種の内部研修を実施している。	が変われば積極的に外部研修参加に努める。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを元に課題を分析し、個々の発達の過程・特性に応じた、個別支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。	保護者から提供していただいた発達検査は職員全員で共有し、支援に活かせるようにしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援内容の項目から個々のニーズに合わせて、発達支援を主軸に支援計画の作成を行っている。	お子様の状況に合わせた具体的な支援計画を作成することを心掛けている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画を確認しながら、計画に沿った支援内容を提供している。	支援準備の際には計画を見直して考えるようにしている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		アセスメントを元に個別支援計画作成会議を行っている。	全体で事例を共有して意見を出し合っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一人一人の状況に合わせて活動プログラムを考案している。	工夫をしながら、支援内容の幅を広げるように努めたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育のため個別の支援計画を作成している。	毎月ではないが、小集団活動を取り入れ希望者に実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			必要なことはミーティング時やその都度、情報の共有を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その都度振り返りや情報共有をしている。

関係機関や保護者との連携	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の支援記録を取り、振り返りも行いながら、支援内容の改善向上につなげている。	
	㉑	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月以内にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。	
	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と担当指導員が出席している。	
	㉓	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		児童発達支援センターや地域の関係機関等と連携し、適切な支援を行える様に努める。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		現在医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等の支援は行っていない。
	㉕	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		現在医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等の支援は行っていない。
	㉖	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて情報提供できる体制を整えている。
	㉗	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて情報提供できる体制を整えている。
	㉘	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターで実施した発達検査の結果や支援についての助言をいただいている。	コロナ禍で研修自体減っていますが、状況が変われば積極的に参加したい。

	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		ご要望があれば検討したい。
	㉕	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の放課後等デイサービス連絡会の定例会議に積極的に参加している。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援終了後に保護者への振り返りを実施している。	ご家庭や園での様子の情報共有を心がけている。事業所内相談支援で相談を受ける。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		振り返り時に家庭での対応方法について相談を行う。	
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規定・重要事項説明書を事業所内に掲示している。契約時には利用者負担額の説明をしている。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画を提示し、内容の説明を行ない、保護者の同意を得ている。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援後の振り返り時に家庭での対応方法について相談を行っている。また、その都度悩みや相談に応じている。	事業所内相談支援で相談する機会を設けるようにしている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在コロナ禍のため行っていないが、今後の要望や必要に応じて検討していきたい。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			支援後の振り返り時を中心として行っている。

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のきり通信、掲示板、HP ブログ、LINE を活用して情報を発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類や端末は鍵付きの書庫に保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			お子様や保護者の状況に応じてわかりやすい意思の疎通・情報伝達を意識している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		集団のイベント時に兄弟姉妹の参加希望にも応じている。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		月に1度防災訓練を実施している。	マニュアルを策定し、職員と保護者に周知している。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1度防災訓練を実施している。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に服薬や既往歴を確認している。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事の提供はしていないが、アレルギーについてはアセスメント時に確認している。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で自校舎はもちろん他校舎の情報も共有している。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置して研修・話し合いを実施している。	

	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明をし、やむを得ず身体拘束を行う場合は個別支援計画に記載する。	
--	----	--	---	--	--------------------------------------	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」忍ヶ丘駅前 校

保護者等数（児童数）：9 回収数：8 割合：89%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6			2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	4		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7			1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			3		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7		1		今後小学生になった際支援可能なのか不安がある。	継続してご利用いただけるようにできる限りの時間の調整を行う。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。